

ルワンダ月報（2019年11月）

主な出来事

1 日・ルワンダ関係

- （1）8日，JICAルワンダ事務所は，ルワンダ動員解除・除隊兵士社会復帰委員会（RDRC）にJICA理事長表彰を授与。
- （2）1日－12月31日，国際オリンピック委員会とパナソニックのパートナーシップによる子ども空手合宿の第1フェーズがキガリで開催。

2 内政

- （1）4日，内閣改造の実施，5日，新内閣が発表。
- （2）4日の内閣改造により，27閣僚のうち女性が14名となり，女性閣僚の割合が52%に上昇。
- （3）14日，新たに大臣に就任した5名の宣誓式を実施。

3 外政

- （1）11－12日，カガメ大統領は，ヨハネスブルクで開催された第2回アフリカ投資フォーラムに出席。
- （2）14－21日，第55回アフリカ・カリブ・太平洋諸国（ACP）－EU合同議会が，キガリにて開催。
- （3）18－19日，カガメ大統領は，ベルリンで開催されたG20アフリカ投資サミットとのコンパクト（CwA）に出席。
- （4）18－23日，ファイエ（Skeikh Omar FAYE）ガンビア国防大臣が，ルワンダの国防省を訪問。

4 経済

- （1）1日，新規AI企業のShaka AI社が創業。
- （2）4－6日，在ルワンダの中国企業によるビジネス博覧会が開催。
- （3）22日，2週間にわたる第5回Made in Rwandaエキスポがキガリで開催。

5 その他

- （1）7日，インド政府は，科学の教科書10万冊をルワンダに寄贈。
- （2）24日，UNHCRの人道救護支援により，難民116名がリビアからキガリに避難。

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダの英字日刊紙 The New Times の記事のとりまとめ。

1 日・ルワンダ関係

(1) JICA 理事長表彰の授与 (9日)

8日、JICAは、ルワンダと大湖地域の平和構築及び和解活動における持続可能性、効果、継続的な努力を評価し、ルワンダ動員解除・除隊兵士社会復帰委員会 (RDRC) に対して、JICA 理事長表彰を授与した。

(2) 子ども空手キャンプ第1フェーズの開催 (24日)

1日-12月31日、国際オリンピック委員会 (IOC) 及びパナソニック社のパートナーシップの下、子ども空手キャンプの第1フェーズが行われ、約70名 (4-16歳) が参加した。参加者は、バスケットボール、チャンバラ・スポーツ、バドミントンの競技も体験できる。同空手キャンプは、2020年7月1日から8月31日までの第2フェーズと同年11月1日から12月31日までの第3フェーズまで開催され、計200名が参加予定。

2 内政

(1) 内閣改造 (5日)

4日、カガメ大統領は内閣改造を行い、5日、カイシレ内閣問題担当首相府大臣が新閣僚を発表した。今回の内閣改造において、2016年以降廃止されていた内務省が復活した。また、スポーツ・文化省が、スポーツ省と青年・文化省の2省に分離され、新しくスポーツ大臣と青年・文化国務大臣が各々任命された (青年・文化大臣は青年大臣が留任)。

(2) 女性閣僚数の増加 (7日)

4日の内閣改造により、閣僚27名中14名が女性となり、前回50%であった女性閣僚の割合は52%となった。憲法では、決定機関 (decision-making organ, 当館注: 憲法では議会及び内閣と明記) にて、女性を30%以上含める義務を定めている。なお、2016年以降廃止されていた内務省の復活により、閣僚数は26名から27名に、省数は17省から18省となった。

(3) カガメ大統領による Vision 2020 の目標達成予測 (9日)

8日、カガメ大統領は、国内外のジャーナリストとの会合で、我々は、2020年までに Vision 2020 に掲げた目標の85%を達成すると言いたいが、実際は65%の達成度に留まるだろうと予測を述べた。

(4) 新大臣5名の就任宣誓式 (15日)

14日、ムジャワマリヤ (Dr. Jeanne d'Arc MUJAWAMARIYA) 環境大臣、ニャンビュンバ (Gen. Patrick NYAMVUMBA) 内務大臣、ムニャンガジュ (Ms. Aurore Mimosa MUNYANGAJU) スポーツ大臣、バムポリキ (Mr. Edouard BAMPORIKI) 青

年・文化担当国務大臣，ニラルクンド（Ms. Ignatienne NYIRARUKUNDO）社会問題担当国務大臣の新大臣5名が，就任宣誓を行った。同式典には，政府関係者，ルワンダ駐在の外交団が参列した。

3 外政

（1）ウガンダ人密輸者2名の射殺（11日）

10日，ルワンダ国家警察は，大規模密輸グループのメンバーで，ルワンダへ密輸を企てたウガンダ人2名を射殺した。警察の発表によると，警察は自衛のため2名を射殺したが，残りのメンバーは逃走した。

（2）カガメ大統領の第2回アフリカ投資フォーラム出席（12日）

11－12日，カガメ大統領は，アフリカ開発銀行（AfDB）がヨハネスブルクで開催した第2回アフリカ投資フォーラムに出席し，ラマポーサ南ア大統領，アクフォアド・ガーナ大統領，ロザーリオ・モザンビーク首相とともにパネル・ディスカッションに登壇した。

（3）カガメ大統領夫人の第25回国際人口開発会議（ICPD）出席（13日，14日）

13日，カガメ大統領夫人は，ケニアで開催された第25回ICPD及びハイレベル対話に出席した。同大統領夫人は，ジェンダー主流化の着実な実行のためには，ハイレベルにおける強力なリーダーシップ，機関と法的枠組み，人的資源が必要であると述べた。

（4）第55回アフリカ・カリブ・太平洋諸国（ACP）－EU合同議会の開催（17日）

14－21日，ACP－EU合同議会がキガリで開催され，ACP諸国とEUは，持続可能な開発における課題について議論した。同会合には，カガメ大統領も出席し，ACP諸国は，EU諸国のアフリカに対する尊厳の必要性を強調した。

（5）カガメ大統領のG20アフリカ投資サミットとのコンパクト（CwA）出席（19日，20日）

18－19日，カガメ大統領は，ベルリンで開催されたG20アフリカ投資サミットとのコンパクト（CwA）に出席し，キガリに製造工場を持つフォルクスワーゲン社及びシーメンス社とのパートナーシップについて紹介した。CwAは，インフラを含むアフリカへの民間投資拡大を目的として，2017年にG20でドイツが議長の際に発足し，ルワンダ，ベナン，ブルキナファソ，コートジボワール，エジプト，エチオピア，ガーナ，ギニア，モロッコ，セネガル，トーゴ，チュニジアの12か国が加盟している。

（6）ガンビア国防大臣のルワンダ訪問（20日：RNA）

18－23日，ファイエ（Skeikh Omar FAYE）ガンビア国防大臣が，ルワンダ

国防省の体制，課題，ベスト・プラクティスなどを学ぶべくルワンダを訪問し，
二国間の協力関係強化について議論を行った。

4 経済

(1) 中国企業博覧会「中国ブランド・ショー」の開催（1日，5日）

4－6日，キガリにて，ルワンダ開発庁（RDB）と中国通商省貿易開発局が，
在ルワンダ中国企業による初のエキスポを共催し，自動車，電機，建設，産業用
エンジニアリング，新エネルギー，工業製品，設備機器，機材，化学産業など中
国企業28社，ルワンダ企業50社が参加した。国連 COM-TRADE によると，20
16年のルワンダの中国からの輸入は3億7,777万米ドル，輸出は480万
米ドルであり，RDBは，輸入を削減し輸出を増加したい意向である。

(2) 中国国際輸出入エキスポ（C I I E）への出展（3日）

5－10日，上海で開催された第2回中国国際輸出入エキスポ（C I I E）に，
ルワンダの農業及び手工芸分野から，香辛料を扱うガショラ（Gashora）社，ウ
エスト・ヒルズ（West Hills）コーヒー社，ガーデン・フレッシュ（Garden Fresh）
社（有機野菜），ダマララ（Damarara）コーヒー社，ルワンダ・マウンテン紅茶
社などが出展した。ルワンダは，パビリオンを設置して Made in Rwanda の製品
を展示するとともに，観光やルワンダへの投資について紹介した。

(3) 新規 AI 企業の開業（2日，4日）

1日，カナダとルワンダのスタートアップ企業 SOVIT 社の合併会社で，人
工知能（AI）を扱う Shaka AI 社が，アメリカの企業に KPO（知的生産活動
のアウトソーシング：Knowledge Process Outsourcing）を提供するサービスを
開始した。同社は，BPO（業務プロセスの外部委託：Business Process
Outsourcing）及び KPO を扱う。現在の従業員は7名だが，来年末までに65
名ほどの雇用を計画しており，顧客数を3年間で200社まで増やす予定であ
る。アウトソーシングの対象となるサービスには，市場分析，統計分析，法律，
ウェブ開発，ソフトウェア開発，アニメーション及びグラフィック・デザインな
どが含まれており，技術とサービスを輸出する知識ハブになるというルワンダ
政府の目標と合致する。

(4) ルワンダ民間企業連盟（PSF）とナミビアの投資会社との貿易強化に係 る覚書署名（7日）

6日，PSFとナミビアの貿易会社 Habesha African Investments 社は，キ
ガリにて，両国間の貿易強化に関する覚書に署名した。両国の貿易パートナーシ
ップには，技術設備，教育，食品加工，建設，観光・サービスが含まれる。なお，
ネポロ（Parstus NEPOLO）同社長によると，パートナーシップの枠組みで，青年
研修及び知識共有を目的とする職業訓練センターの設立が予定されている。

(5) ルワンダ企業の国際花卉貿易フェア出展 (IFTF) (7日)

6-8日、ルワンダの花卉栽培会社 Bella Flowers 社と Bloom Hills 社 (後者は当地日本企業) は、国家農業輸出機構 (NAEB) を代表として、オランダで開催された世界最大級の花卉栽培・園芸展示会である国際花卉貿易フェア (IFTF) に出展した。

(6) 紅茶の輸出量増加 (9日)

国家農業輸出開発庁 (NAEB) によると、2018年に3万トンであった紅茶の輸出量が、2019年は3万4,000トンに増加し、収入額は8,300万米ドルから1億200万米ドルに増加する見込みである。

(7) 英国国際開発省 (DFID) 次官のルワンダ訪問 (12日)

12日、リクロフト (Matthew RYCROFT) DFID次官が、英国とルワンダのパートナーシップの深化、2020年にロンドンで開催される英国・アフリカ投資サミット、また、同年キガリで開催される英連邦首脳会合に係る協議のため、3日間に渡りルワンダを訪問した。DFIDは、経済成長、社会保護、農業、教育の分野で対ルワンダ支援を実施しており、小学生向けの教科書380万冊の配布事業を実施した。

(8) ルワンダ人女性2名のアフリカ・ネットプレナー賞受賞 (18日)

16日、アクラで行われたアフリカ・ネットプレナー (インターネット上でノウハウやビジネスツールを販売する起業家) サミットで行われたジャック・マー基金 (中国のアリババ・グループ) の受賞式で、ルワンダ人女性企業家2名が受賞した。アフリカ50か国、1万名の応募者から選ばれた同2名は、安全な水のマイクログリッド INUMA を開発し、国内86か所の給水ポイントで47,612名を顧客にする Rwanda Water Access 社の創業者と、750名以上の雇用と技能研修で社会にインパクトを与えた靴メーカーの UZURI K&Y 社の創業者である。

(9) ルワンダ人8名の中国でのインターンシップ参加 (19日)

15日、Huawei 社の「未来の種プロジェクト」を通じて、8名のルワンダ人大学生が、中国で2週間にわたる技術分野におけるインターンシップ制度に派遣された。

(10) 欧州連合 (EU) によるルワンダの難民受入れ支援 (19日)

19日、EUは、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) がルワンダ国内で実施する「緊急トランジット・メカニズム (ETM: Emergency Transit Mechanism)」に対する1,030万ユーロ (約13億円) の支援決定を発表するプレスリリースを発出した。本年9月、ルワンダ政府は500名のリビア難民受け入れを発表しているが、EUによる今般の支援で、ルワンダ国内では、リビアからの難民1,500名の受け入れが可能となる。

(11) グローバル・ビジネス・フォーラム・アフリカへの参加 (19日, 20

日)

18-19日、ルワンダのビジネス関係者が、UAE及びアフリカ諸国の投資家の誘致を目的とし、ドバイで開催されたグローバル・ビジネス・フォーラム・アフリカ2019に参加した。

(12) 第5回 Made in Rwanda エキスポの開催 (23日)

22日から2週間、第5回 Made in Rwanda エキスポが開催され、繊維、家具、電子商取引関連企業やアフリカで唯一の携帯を製造する Maraphones 社など420社が出展した。

5 その他

(1) 小学校修了試験受験者数の増加 (5日)

4日、キニヤルワンダ語、社会、算数、英語、科学の5科目からなる小学校修了試験 (PLE) が実施された。今年の受験者数は、昨年の255,578名から12%増加し、男子が131,748名、女子が154,339名となった。なお、ムニャカジ (ISAAC MUNYAKAZI) 初・中等教育国務大臣によると、世銀の支援により11,000教室の建設計画があり、受入れ過剰の状況にある学級の50%が緩和される見込み。

(2) インド政府による科学の教科書寄贈 (8日)

7日、インド政府は、高校生向けの科学の教科書10万冊をルワンダ教育庁 (REB) に寄贈した。インド政府は、インドの高等教育機関へのルワンダ人学生の留学、ルワンダ国内の職業訓練校入学に係る奨学金の付与、学校の太陽光電化システム整備において、REBとパートナーシップを組んでいる。

(3) リビアから116名の難民退避 (25日: RNA)

24日、リビアからの難民116名が、UNHCRの人道救護支援機でルワンダに到着した。多くがエリトリアからの難民で、ソマリア、エチオピア、スーダン、南スーダンからの避難民も含まれており、その内3分の2は、家族や親類と離れてしまった18歳以下の子どもであり、乳児数名も含まれる。

(了)